

# 第17回 日本肩の運動機能研究会

発表者：鶴田 崇、山口 亮、内田 順己

## HERTの陽性が継続すると 野球完全復帰に影響するか

○鶴田 崇<sup>1)2)</sup>、山口 亮<sup>1)2)</sup>、内田 順己<sup>1)2)</sup>、緑川 孝二<sup>3)</sup>、南川 智彦<sup>3)4)</sup>  
1) 南川整形外科病院 リハビリテーション部  
2) 南川スポーツ医学研究所  
3) 南川整形外科病院 整形外科  
4) 福岡大学筑紫病院 整形外科

HERTの陽性が継続すると野球完全復帰に影響するか  
鶴田 崇

## 成長期の野球選手に対する KJOCスコアと 客観的評価の関係性

山口 亮<sup>1)</sup>、内田 順己<sup>1)</sup>、鶴田 崇<sup>1)</sup>、緑川 孝二<sup>2)</sup>  
1) 南川整形外科病院 リハビリテーション部  
2) 南川整形外科病院 整形外科

南川整形外科病院

成長期の野球選手に対する KJOC スコアと客観的評価の関係性  
山口 亮

## 投球障害肩を呈し、フルスローを獲得した 小中学生の上肢可動域と下肢可動域の関係

○内田順己<sup>1)</sup> 山口亮<sup>1)</sup> 鶴田崇<sup>1)</sup> 緑川孝二<sup>2)</sup>

1) 南川整形外科病院 リハビリテーション部  
2) 南川整形外科病院 整形外科

Minamikawa Orthopedics Hospital

フルスローを獲得した小中学生の上肢及び下肢可動域の関係性  
内田 順己

10月9日から2日間、札幌で開催された第17回日本肩の運動機能研究会で当院より3名のスタッフが発表しました。日本肩の運動機能研究会とは、肩関節についての「なぜ、なに、どうして」を解明するべく、日本全国の肩関節専門の医療従事者が臨床の疑問などを解明するために討議し合う研究会です。しかし残念ながら、今回はコロナウィルスの影響でソーシャル・ディスタンスを考慮し、現地ではなく初のリモートという形式で参加しました。リモート発表は、慣れない環境でしたが、無事に発表を終えることができました。私は全力投球ができる小中学生の野球選手の全身の柔軟性について発表しました。今後も完全復帰した後も柔軟性を維持するためには、ストレッチなどの自己によるコンディショニングのケアが重要であることを伝えていきたいと思います。今回の学会で得られた知識・経験を患者様に還元できるよう努めていきます。

内田 順己

